

# 技術継承と人材育成の中心に!

## 助役職 技術専任職 交流会開催!

国労東日本本部は7月7日、新橋において「助役・技術専任職等交流会」を開催しました。

渡辺執行委員の司会ではじまり、大沼委員長は「一括和解以降、国労組合



国労東日本本部は、この間の会社と東労組の対立から3万人を越える脱退者が出ている状況の下、職場で影響力がある助役・技術専任職の組合員の交流会を7月7日に開催し、職場の状況や問題点の解消に向けた情報の共有と組織拡大への意思統一を図ってきました。

今号は、①助役・技術専任職等交流会、②長野地本・新幹線東信駅分会加入歓迎会、③鉄道退職者の会・東京地方連合会学習会、④「埋めるな! 辺野古沖縄県民大会」に呼応する8・11首都圏大行動、東日本本部工作協議会役員会の報告とします。

員が試験に合格し、主務職や助役職になる人も増加してきた。会社にもものを言わないと労働条件等の問題は改善しない。助役・技術専任職は職場におけるエキスパートである。その視点から抱えている不安・悩み・要望を出してもらい、組織拡大を含めた国労の将来展望について構築していききたい」と挨拶しました。

交流会にあたって、武田組織部長が「①相次ぐ大規模輸送障害や会社施策の推移、②一括和解以降の変化や昇進試験の可否の変化、12年連続となる新入社員加入など組織

拡大の現状、③JR東日本会社と他労組の組織問題を巡る状況、④助役職・助役技術専任職社員の立ち位置とは何か」の提起を行い、全体交流に入りました。

交流会では、参加者紹介から始まり、地方の特征的な状況、組織問題による職場の変化・会社への対応・国労への影響などを中心に議論しました。

「職場の30名中、国労組合員は3名で、東労組はほぼ脱退している。人材育成・技術継承が課題」、「通信教育の申し込みなど、シンジャーの入力に慣れていないので対応が

冒頭、関口分会長が「みんなの頑張りで二人を仲間に入れてくれることができた。さらに仲間を増やすため、一丸となつてがんばろう」と挨拶をしました。来賓の東日本本部・大沼委員長から「前回の

大変」、「社員とのコミュニケーションは取れてきている」、「業務主務は、助役の補佐として事務・出張・教育など色々なことをやらされている」、「駅のチーフアドバイザーとして新人の教育をしている。人間関係が出来ても、車掌試験を受けて2年位で出て行ってしまう」、「一

般職と管理職の業務区分は心掛けていく。個人の意見を上部に伝えることを意識している。プロパールの意見を反映して組織化したい」など職場での具体的な状況・課題が出されました。

最後に、伊藤書記長が「組織問題で32000人の未加入者が発生してい

大会から多くの拡大があり、20〜30代の加入も続いている。東労組の大量脱退という状況で、「国労も選択肢」の認識が広がっている。さらに大きな流れとするために一緒に奮闘しよう」と激励の挨拶がありました。

長野地本・若林書記長からは「4月の長野駅・山口さんの加入も関口分会長以下、東信駅分会の仲間の尽力があった。新幹線東信駅分会が長野地本を牽引している。今後とも国労加入に向けた取り組みをお願いしたい」と挨拶がありました。

加入した西村さんが「労働組合は必要。国労はしっかりとした組合なので加入を決めた」と決意を語り、

る状況は、組織拡大に向けた絶好のチャンス。未加入者へ会社側が主導で情報発信を行っているが、対する労働組合の存在意義が問われている。助役職・技術専任職の立場から、技術継承と人材育成の中心となった活躍を期待する」と集約を行い、交流会を終了しました。

岩谷さんからも「同期にも国労に加入した人がいる。色々相談のつもりだったので国労で頑張りたい」と決意が述べられました。

小さな焼き鳥屋さんで開催した歓迎会。上田名物の「美味だれ(おいだれ)」で料理もさらに美味しく頂きながら、懇親を深めました。



(長野地本発)



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5 交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 大沼 元  
編集責任者 樋口孝重

No. 808 定価 20円

2018年 8月23日

仲間の信頼  
力に変えて  
さあ踏み出そう  
組織の拡大へ

QRコードからでも閲覧できます

<http://www.e-nru.com/>

### 長野地方本部

## 新幹線東信駅分会 加入歓迎会

7月3日 開催!

**鉄道退職者の会  
東京地方連合会**  
**7月20日  
学習会開催!**  
**「憲法9条を生かし!  
平和と人権を守ろう!」**

鉄道退職者の会・東京地方連合会は、7月20日、新橋交通ビルにおいて、福島

みずほ参議院議員を講師に学習会を開催し、現役組合員も含め130名が参加しました。

細岡会長の主催者あいさつがあり、福島議員から「立憲主義と改憲阻止に向けて」と題して講演が行われました。はじめに国会情勢に触れた後、憲法「改正」について「発議から国民投票までの期間を極力短くし、投票を各項目ごとに細分化して議論をさせないようにするだろう。国民投票には852億円かかると言われ、参議院選と抱き合わせで実施する案もあるが、争点が見えづらくなる」などの問題点が報告されました。憲法9条については「自衛隊を明記する第3項について安倍首相に質問したが『明記する自衛隊とは、集

团的自衛権を行使する自衛隊の事である』との回答であった。この第3項で第1項、第2項は完全に破壊され、今後法律で定めれば何でもできるようになる。予算の増額や『国防軍』となるのも時間の問題で、法律や社会が軍隊の存在前提に変わってくる」などの問題点が出されました。

教育の無償化のトーンダウン、参議院で自民党に都合のいい選挙区にするための憲法「改正」などの報告もされ、新自由主義に対する社会民主主義の重要性を訴え、講演は終了しました。

続いて東京地本・鎌田委員長から「全ての闘いを、組織強化・拡大に集約していく。選択される組合を指すため、今日の情勢認識を全体で一致させていく」と挨拶がされました。

青山昭島市議からは横田基地オスプレイ配備反対の闘いについて「沖縄・普天間基地は世界一危険と言われるが、横田基地も同じ状態。オスプレイの特殊作戦に向けた難しい訓練で事故がさらに多発する。垂直離着陸時に超高温の熱風が発生するため専用の駐機場が必要で、災害現場などには

降りられない」などの報告がされました。東京地本・石井書記長からJR職場の現状について報告がされ、最後に細岡会長の「平和と民主主義を守るために頑張ろう」という掛け声が続いて、団結がんばろうで学習会は終了しました。(東京地本発)



7月14日、大宮総合車両センター会議室において、工作協議会役員会が開催されました。

**工作協議会  
役員会**  
**7月14日開催!**  
**安全な車両の提供と  
労働条件改善は車の両輪の闘い!**

小野議長は「①4月の交流会で開催したアスベスト学習会でのパネルディスカッションを受けて、秋田総車セ・仙台新幹線総車セ・東京総車セ・大宮総車セでは、それぞれ支部主催の学

習会を開催してきた。②さらなるアスベストについての取り組み強化と要求の掘り起こしが必要である。③JR東労組からの大量脱退という新たな事態を迎えて、組織拡大を本気で取り組んで労働条件の改善をめざそう」と挨拶しました。

**埋めるな! 辺野古  
沖縄県民大会に呼応する  
8.11首都圏大行動!**

8月11日、東京・東池袋中央公園で「埋めるな! 辺野古 沖縄県民大会に呼応する8.11首都圏大行動」が開催され、猛暑の中集結した2800人の参加者(主催者発表)と共に国労も参加をしてみました。

集会では先日亡くなられた翁長沖縄県知事への黙祷

7月14日、大宮総合車両センター会議室において、工作協議会役員会が開催されました。

東日本本部・渡辺執行委員からこの間の情勢報告を受け、来賓の神奈川労災・職業病センター・池田さんから、最近のアスベスト健康管理手帳の取得状況と「労働組合としての取り組みの強化を!」と激励の挨拶を受けました。

各職場からは「JR貨物においても貨物労内での対

さらに連帯の挨拶や同時に開催されている沖縄県民集会からの中継などが続き、参加者全員の結束を強化しあい、辺野古基地建設阻止への新たな決意を固めました。

集会後にはデモ行進を行い、暑さに負けない熱意でシュプレヒコールを上げ、辺野古基地建設反対を訴えかけました。



立がある(大宮車両所)、「2年連続の組織拡大の成果と教訓について」(東京総車セ)、「業務委託後の問題点の洗い出しとアスベスト問題の取り組み報告」(長野総車セ)、「社員代表者選挙の取り組みと若手社員や未加入者への宣伝・働きかけの強化」(仙台新幹線総車セ・秋田総車セ)などの活動報告がありました。

最後に徳武事務局長は「①長野での組織拡大の報告では『退職まで残り少ないと後ろを向くのではなく、前を向いて頑張ろう』との声があった。私たちも気持ちを切り替えて、本気で取り組みよう。②アスベスト問題は

将来においても広がる課題。現役時代から準備を取り組もう。③業務委託・ベスプラ(車両の置換計画)・CBM(状態把握のモニタリング検査)などでの問題点の洗い出しと労働条件改善を目指そう」と集約して、次期定期委員会まで全力で奮闘する決意を固めました。

**アフラック**  
最新のがん保険、**新登場。**

通院・入院・抗がん剤・診断一時金  
NEW/ **新 生きるためのがん保険 Days**

女性特有のがんにも手厚い  
NEW/ **新 生きるためのがん保険 Days**

はじめてダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)  
**アベニール株式会社**  
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

©商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。  
(引受保険会社)  
**アフラック**(アメリカンファミリー生命保険会社)  
東京第二法人営業部  
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F  
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036  
AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日

